

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る
市民アンケート調査報告書

平成 26年 10月

**宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る
市民アンケート調査報告書**
－ 目次 －

1. 調査概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査概要	1
2. 調査集計及び集計結果の分析	2
1) 調査結果（単純集計）	2
2) 調査結果（年齢によるクロス集計）	10
3) 調査結果（地区によるクロス集計）	13
4) 調査結果（拠点整備に対する意向によるクロス集計）	16
5) 調査結果（その他、自由記入の集計）	18
3. 資料編	20
1) 市民アンケート調査票	20
2) アンケート調査報告書（概要版）	22

1. 業務概要

1) 調査目的

調査は、平成26年度に予定している宮古市中心市街地拠点施設整備事業の基本計画の策定にあたっての基礎資料とするため、市役所の利用実態や利用に関する市民の満足度及びニーズを把握することを目的として実施するものである。

2) 調査概要

本調査の実施期間・調査対象・回収状況・調査内容は以下の通り。

実施期間	平成26年8月15日（金）～8月31日（日） （FAX・窓口提出は、平成26年9月1日（月）着分まで）
調査方法	調査票は、「広報みやこ（平成26年8月15日号）」で全世帯配布。 回収は、郵送・FAX・窓口提出のいずれか。
調査対象	①全世帯（平成26年8月1日現在：24,261世帯） ②来庁者（本庁舎、総合事務所・出張所の住民窓口）
回収数（率）	①1,056人（世帯、4.35%） ②511人 合計 1,567人
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・回答者の属性・市役所の利用目的・本庁舎の利用頻度・本庁舎までの交通手段・本庁舎での滞在時間・整備計画の認知度・拠点施設の整備について・拠点施設の整備で重要視すること・拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）・宮古駅南側の用地に新たに拠点施設を整備する場合の交通手段・拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について・その他（意見・提案）

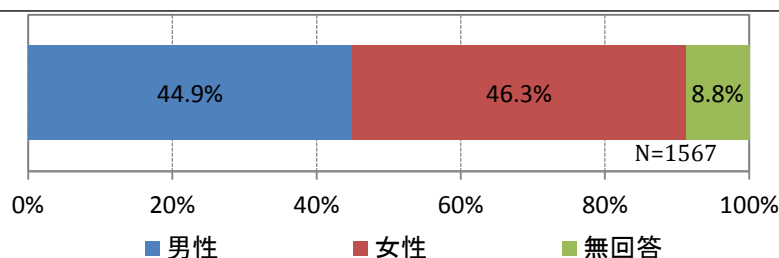
2. 調査集計及び集計結果の分析

1) 調査結果（単純集計）

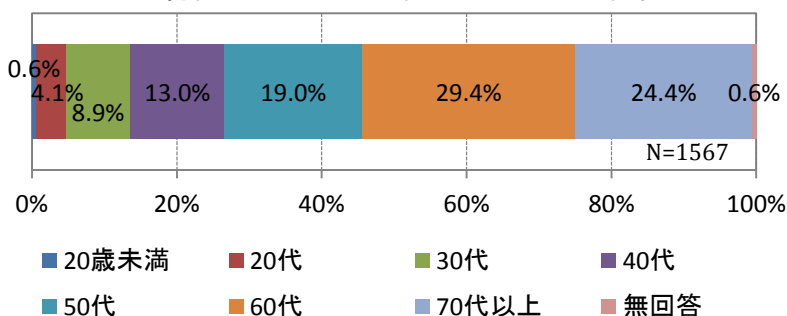
①属性

- 「性別」では、「女性」が46.3%、「男性」が44.9%とほぼ同じくらいの割合となっている。
- 「年齢」では、「60代」の割合が29.4%と最も高く、次いで、「70代以上」が24.4%、「50代」が19.0%となっている。
- 「お住まい」では、「宮古地区」の割合が68.2%と最も高く、次いで、「田老地区」が7.1%、「崎山地区」が6.3%となっている。
- 「職業」では、「無職」の割合が36.1%と最も高く、次いで、「会社員」が17.5%、「自営業」が11.5%となっている。

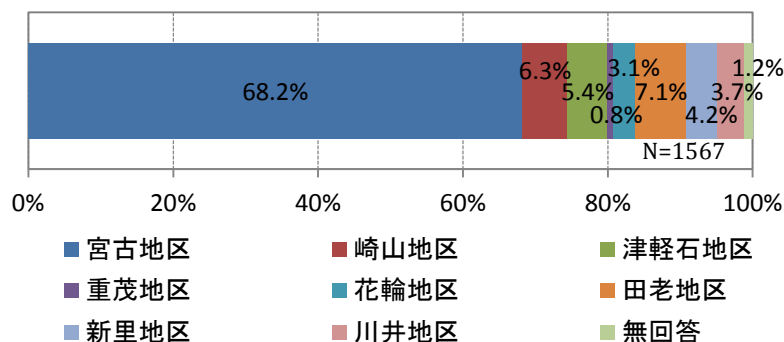
■性別



■年齢



■お住まい



■職業

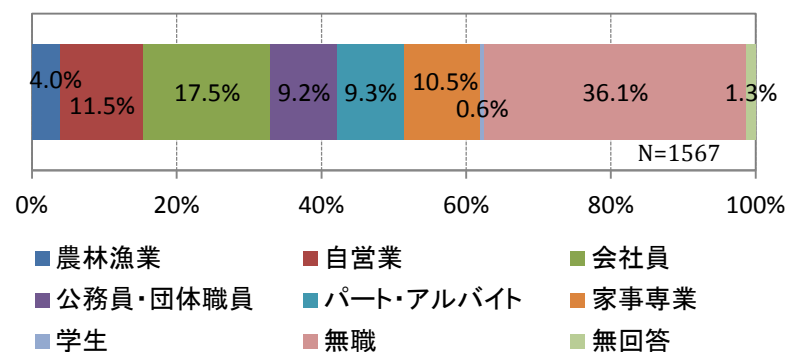


図1 属性

②利用目的（市役所：本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所）

○「戸籍、住民票、印鑑登録」の割合が 81.7%と最も高く、次いで、「税金」が 37.8%、「健康保険、年金」が 26.2%となっている。（複数回答）

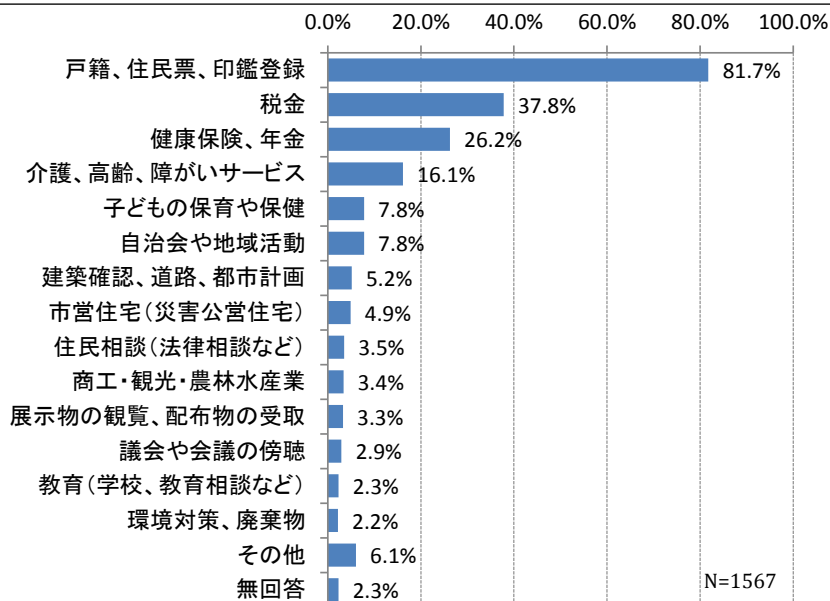


図2 利用目的

③利用頻度（本庁舎）

○「年に数回程度」の割合が 52.5%と最も高く、次いで、「月に1、2回程度」が 19.1%となっている。

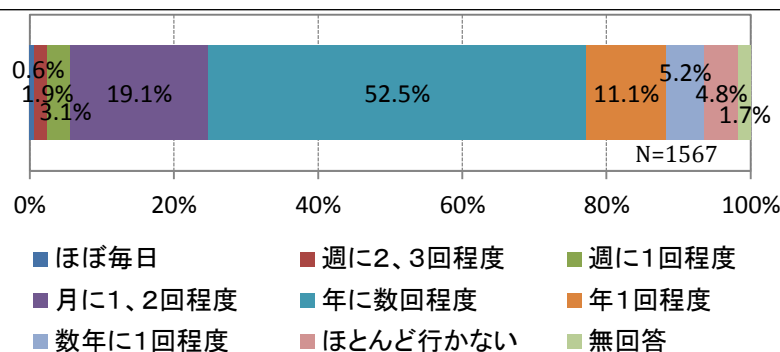


図3 利用頻度

④本庁舎までの交通手段

○「自動車（自分で運転）」の割合が 64.1%と最も高く、「自動車（家族等の送迎）」(9.0%)を含めると7割以上(73.1%)が自動車を使用している。また、「公共交通（鉄道・バス・タクシー）」の割合は、7.8%となっている。

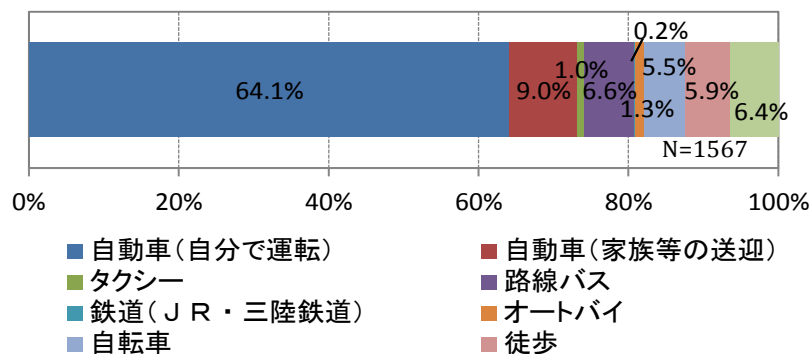


図4 本庁舎までの交通手段

⑤本庁舎での滞在時間

○「15 分～30 分未満」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「15 分未満」が 26.3%となっている。

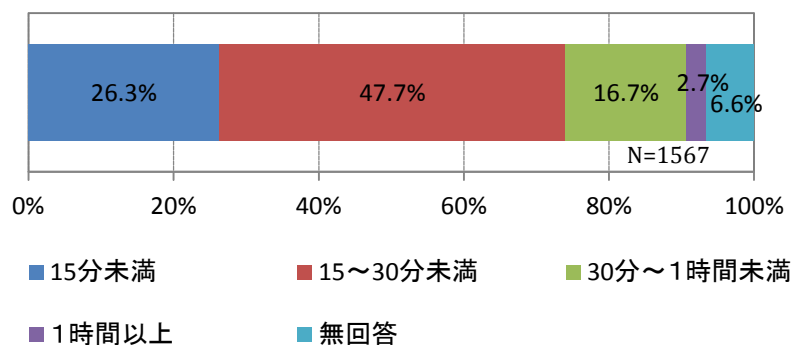


図 5 本庁舎での滞在時間

⑥整備計画の認知度

○「知っていた」と答えた人が 85.5%となっており、整備計画に関する認知度は高い。

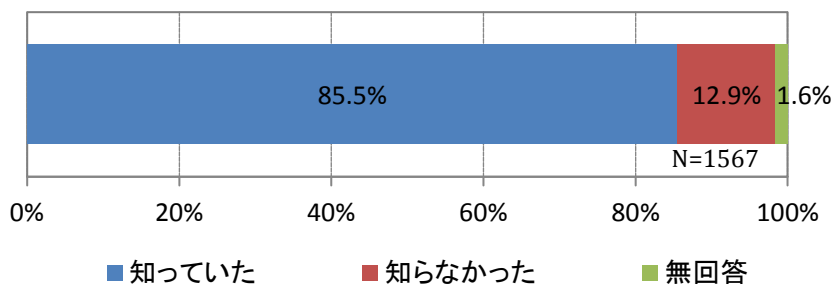


図 6 整備計画の認知度

⑦拠点施設の整備について

○「早いほうがいい」と答えた人の割合が 29.2%、「どちらかというとも早いほうがいい」と答えた人が 23.5%と、早めの対応を求める声が 5 割（52.7%）を超えている。

○「急がなくていい」「どちらかというとも急がなくていい」と答えた人は 25.2%、「必要性を感じない」と答えた人は 11.1%、「わからない」と答えた人は 8.7%となっている。

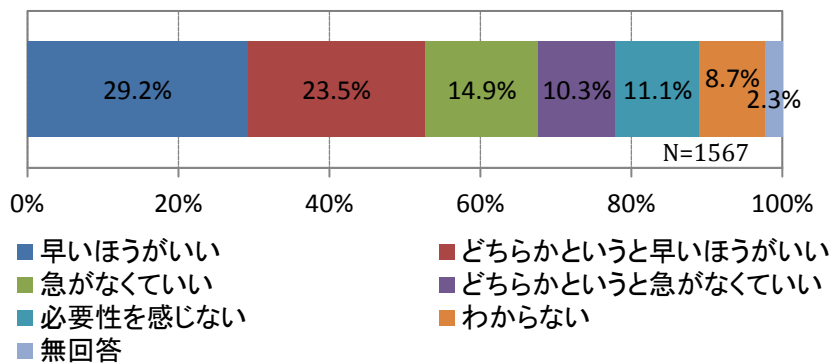


図 7 拠点施設の整備について

⑧拠点施設の整備について（早いほうがいいとする理由）

- 早めの対応を求める 826 人（52.7%）のうち、その理由として「窓口が分散化し、不便だから」と答えた人の割合が 31.4%と最も高く、次いで、「建物の老朽化が著しく、危険性を感じるから」と答えた人が 29.2%となっている。
- 「その他」としては、「駅から近く交通の便が良い方がよい」「現庁舎は海に近く危険を感じるので早く安全な場所に整備してほしい」等の意見が見られた。

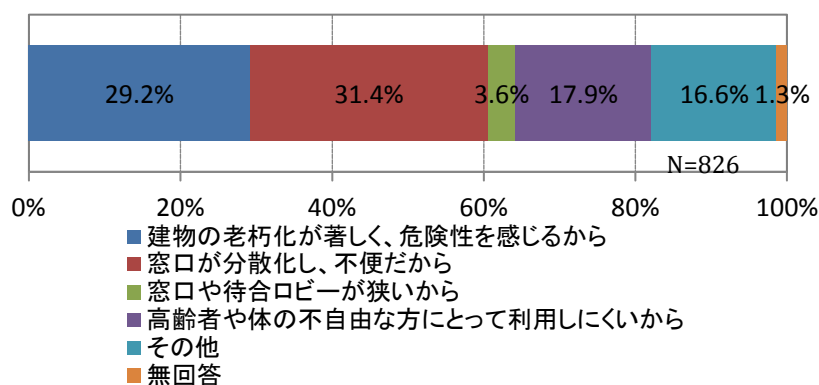


図 8 拠点施設の整備について（早いほうがいいとする理由）

⑨拠点施設の整備について（急がなくていいとする理由）

- 「急がなくていい」と答えた 395 人（25.2%）のうち、その理由として「他の優先すべき課題があるから」と答えた人の割合が 51.6%と最も高く、次いで、「多額の費用がかかり将来世代への負担が心配だから」と答えた人が 17.2%となっている。
- 「その他」としては、「もっと時間をかけて議論をしてほしい」等の意見が見られた。

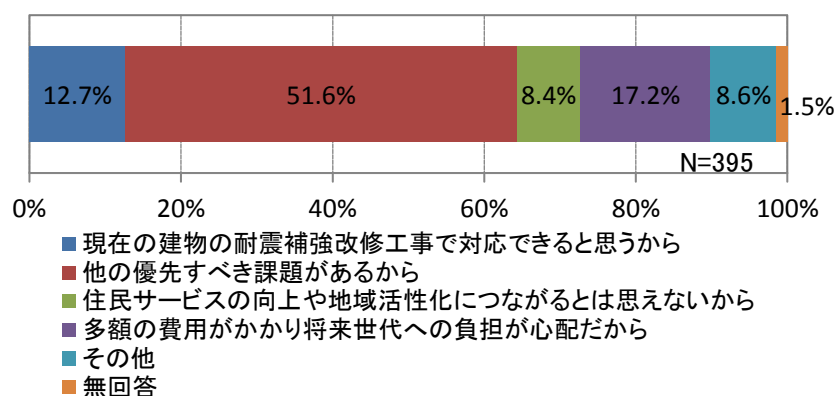


図 9 拠点施設の整備について（急がなくていいとする理由）

⑩拠点施設の整備について（必要性を感じないとする理由）

- 「必要性を感じない」と答えた 174 人（11.1%）のうち、その理由として「他の優先すべき課題があるから」と答えた人の割合が 29.3%と最も高く、次いで、「現在の建物の耐震補強改修工事で対応できると思うから」と答えた人が 26.4%となっている。
- 「その他」としては、「移動する場所が良くないと思うから」等の意見が見られた。

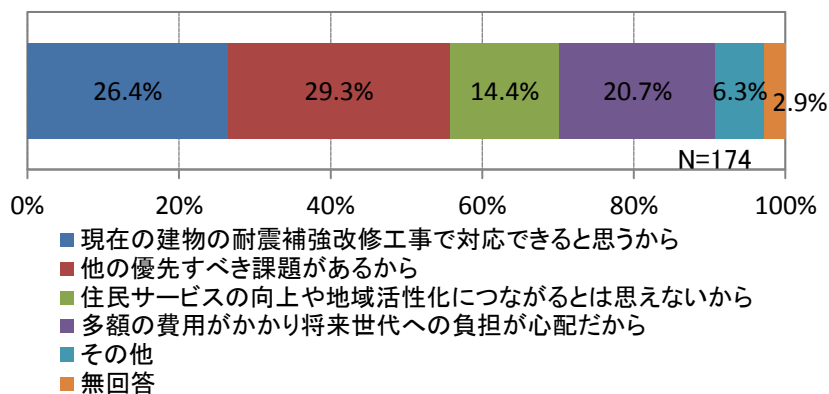


図 10 拠点施設の整備について（必要性を感じないとする理由）

⑪拠点施設の整備について（わからないとする理由）

- 「わからない」と答えた 136 人（8.7%）のうち、その理由として「整備規模や費用がわからないから」と答えた人の割合が 44.1%と最も高く、次いで、「このことにあまり関心がないから」と答えた人が 26.5%となっている。
- 「その他」としては、「工事関係者が不足して復興が進まなくなる」「財政が不安」「場所が不適ではないか」等の意見が見られた。

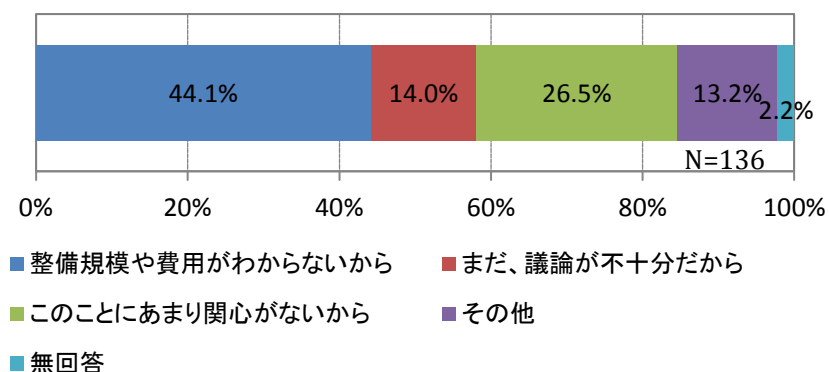


図 11 拠点施設の整備について（わからないとする理由）

⑫拠点施設の整備で重要視すること

○「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」を重要視すると答えた人の割合が63.4%と最も高く、次いで、「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」と答えた人が57.8%、「高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能」と答えた人が46.5%と続いている。

○「その他」としては、「駅との一体化・コンパクトシティの確立」「窓口サービスの向上」「避難場所の確保」他、「必要がない、現状で十分」「仮設の早期解消が先」等の意見が見られた。

(複数回答)

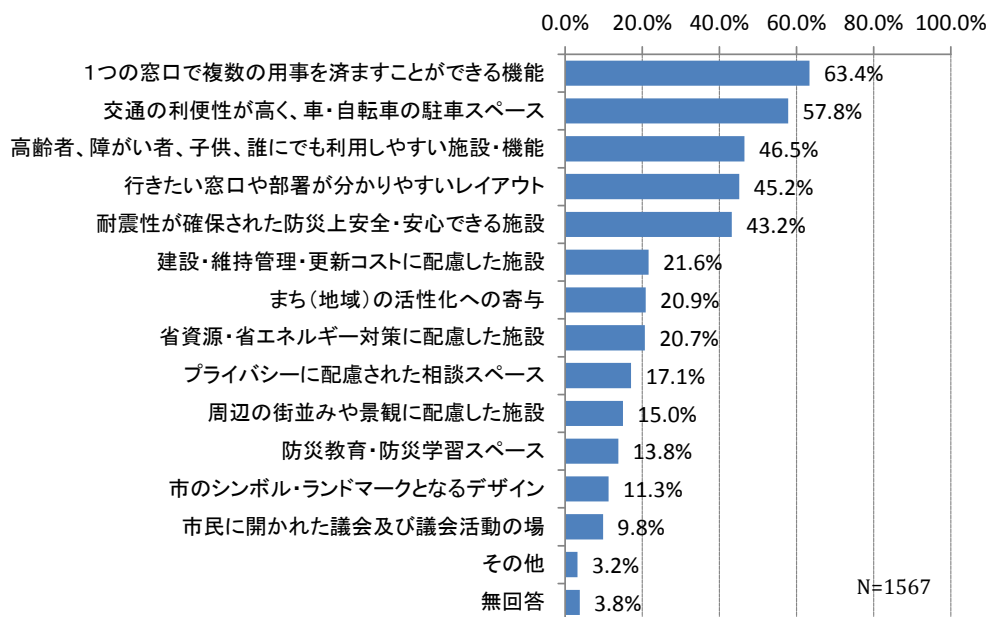


図 12 拠点施設の整備で重要視すること

⑬拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

- 「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」を必要な新たな施設（機能）と答えた人の割合が 42.4%と最も高く、次いで、「イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース」と答えた人が 36.9%、「市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース」と答えた人が 31.4%となっている。
- 「その他」としては、「必要最小限にすべき」等の意見が見られた。（複数回答）

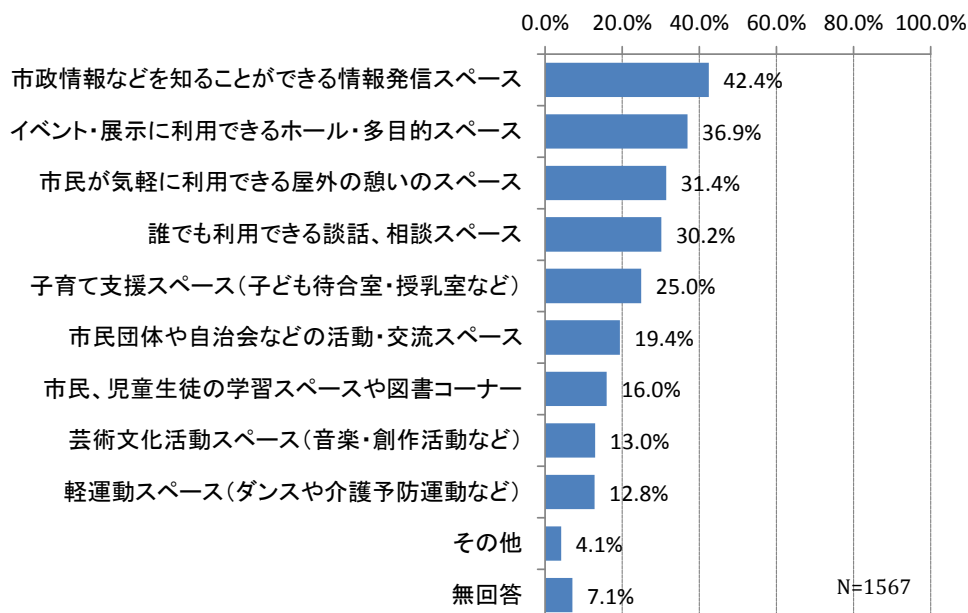


図 13 拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

⑭宮古駅南側の用地に新たに拠点施設を整備した場合の交通手段

- 「自動車（自分で運転）」の割合が 59.5%と最も高く、「自動車（家族等の送迎）」（5.7%）を含めると 6 割以上（65.2%）が交通手段として自動車を使用すると答えている。
- 「公共交通（鉄道・バス・タクシー）」の割合は 12.8%となっている。

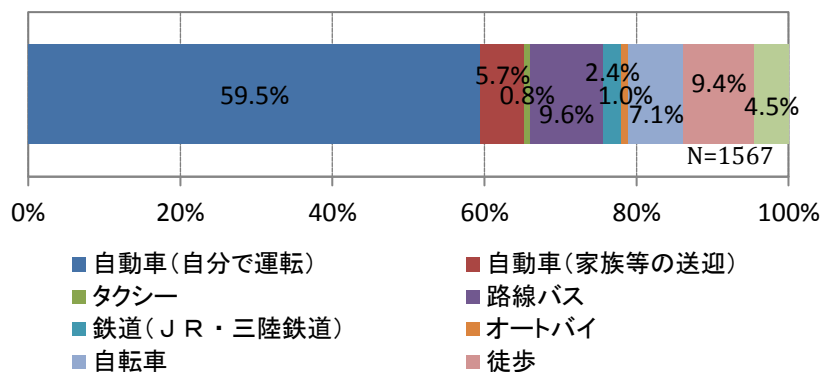


図 14 宮古駅南側の用地に新たに拠点施設を整備した場合の交通手段

⑮ 拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

- 「市民が憩える公園・広場」と答えた人の割合が 25.5%と最も高く、次いで、「市民や観光客のための市営駐車場」と答えた人が 18.8%となっている。ただし、その他いずれの回答にも大差はない。
- 「その他」としては、「津波避難ビルとして残すべき」「道の駅とする」「売却」等の意見が見られた。(複数回答)

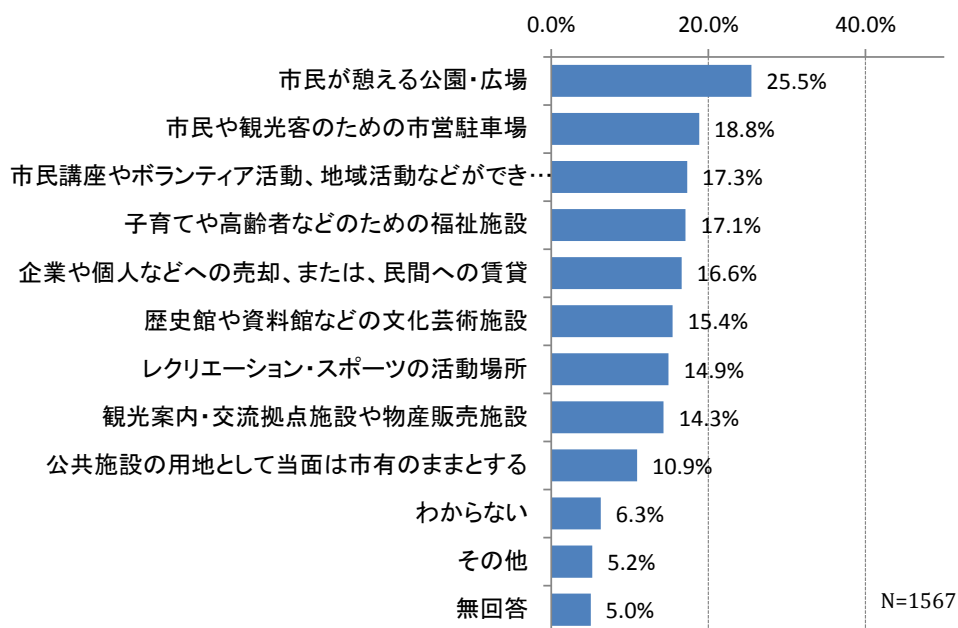


図 15 拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

2) 調査結果（年齢によるクロス集計）

①利用頻度

- 利用頻度の傾向は、「20歳未満」とその他の年代で大きく異なっている。
- 「20歳未満」では「ほとんど行かない」と答えた人の割合は、50.0%と最も高くなっているのに対し、20代以降の年代では、「年に数回程度」と答えた人が、半数近くを占めている。

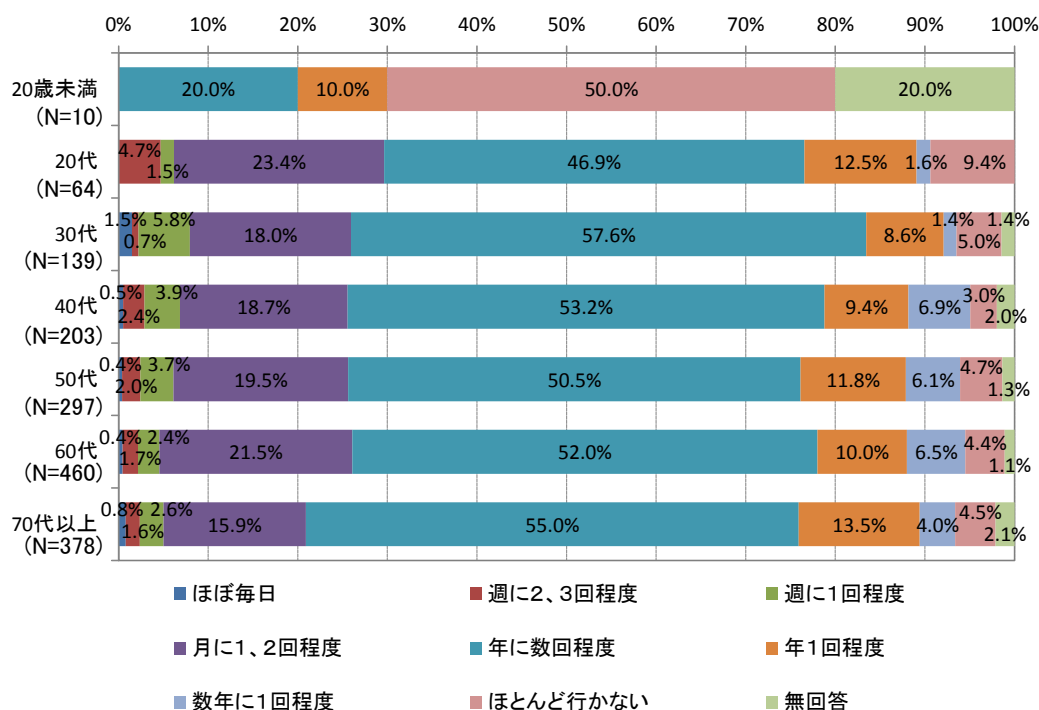


図 16 年齢別利用頻度

②整備計画の認知度

- おおよその傾向として、年代が高くなるにつれて、認知度は高くなっている。
- 「20歳未満」では「知らなかった」と答えた人の割合が、60.0%と最も高いのに対し、20代以降の年代では、「知っていた」と答えた人が6割以上で、50代以降に至っては9割近くを占めている。

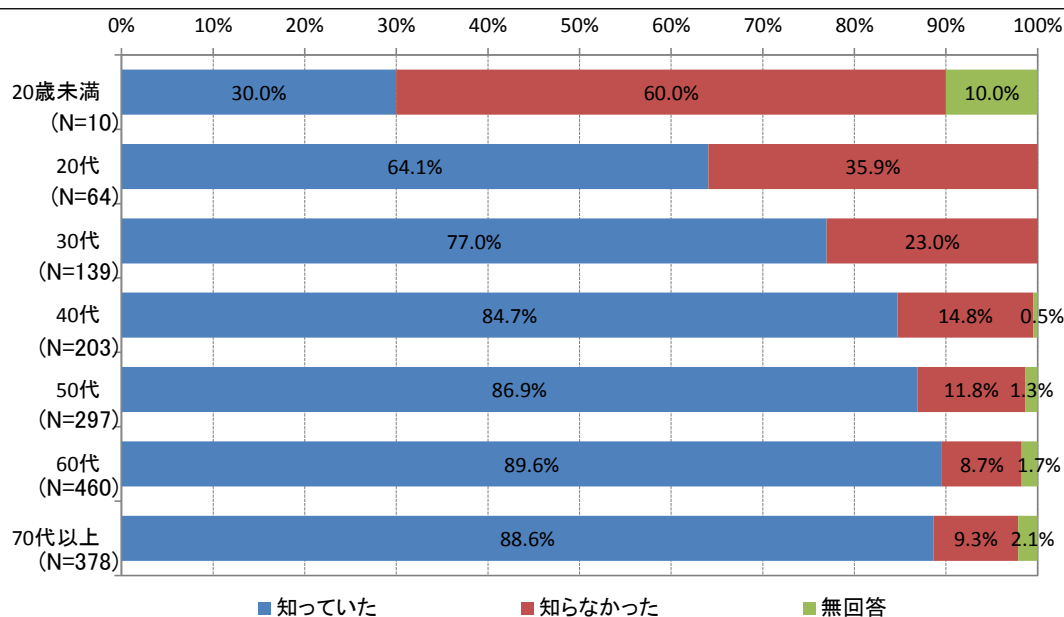


図 17 年齢別整備計画の認知度

③拠点施設の整備について

- どの年代も早めの対応を求める声が5割近く、または5割を超えている。
- 「50代」では、「急がなくていい」「どちらかというと急がなくていい」「必要性を感じない」と答えた人の割合が、合わせて43.8%と他の世代に比べて最も高くなっている。

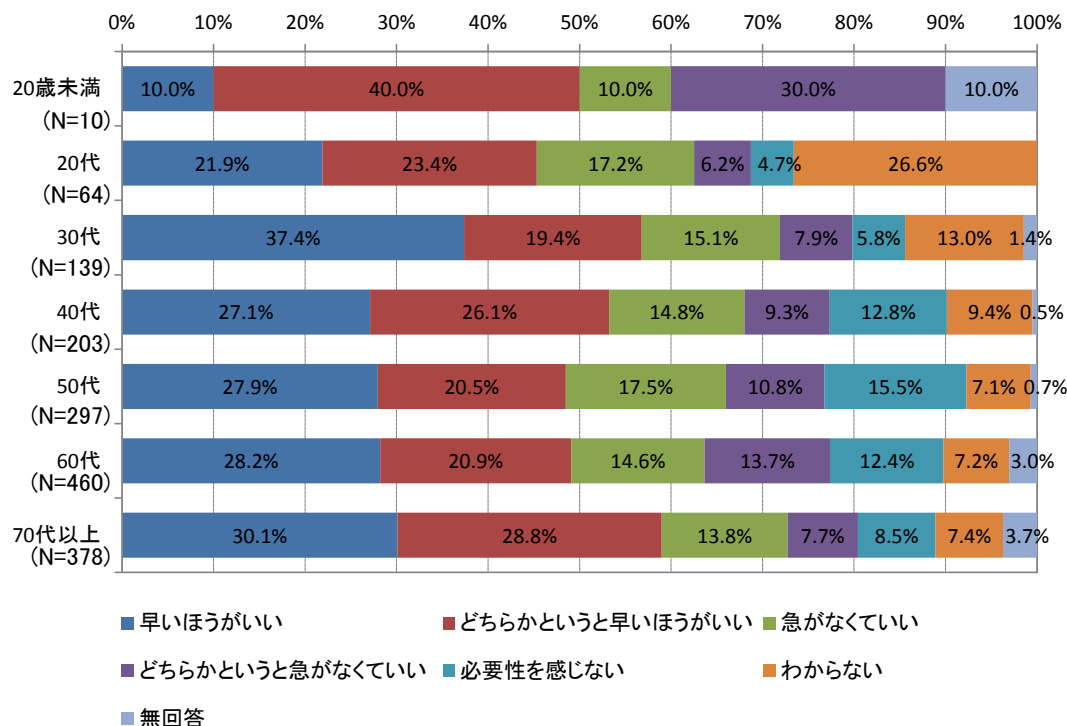


図 18 年齢別拠点施設の整備について

④拠点施設の整備で重要視すること

- 「20歳未満」「20代」を除いたいずれの年代においても、重要視する項目として「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」を挙げている人の割合が最も高い。
- 次いで、「交通の利便性が高く、車・自動車の駐車スペース」「行きたい窓口や部署が分かりやすいレイアウト」「高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能」「耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設」等を挙げている人の割合が高い。

表 1 年齢別拠点施設の整備で重要視すること

	20歳未満 (N=10)	20代 (N=64)	30代 (N=139)	40代 (N=203)	50代 (N=297)	60代 (N=460)	70代以上 (N=460)
防災教育・防災学習スペース	20.0%	14.1%	15.8%	14.3%	14.1%	13.3%	12.4%
1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能	30.0%	60.9%	61.9%	59.1%	63.0%	66.3%	64.6%
行きたい窓口や部署が分かりやすいレイアウト	40.0%	62.5%	46.8%	47.8%	43.1%	43.3%	44.7%
交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース	60.0%	48.4%	64.0%	60.6%	60.9%	59.6%	50.8%
プライバシーに配慮された相談スペース	10.0%	12.5%	19.4%	19.7%	18.9%	19.3%	11.9%
高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能	20.0%	51.6%	31.7%	40.9%	49.8%	45.0%	54.0%
市民に開かれた議会及び議会活動の場	0.0%	0.0%	3.6%	9.4%	10.4%	11.3%	11.9%
耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設	40.0%	45.3%	42.4%	39.4%	43.8%	39.6%	49.2%
省資源・省エネルギー対策に配慮した施設	20.0%	15.6%	15.1%	20.2%	23.9%	22.2%	20.1%
建設・維持管理・更新コストに配慮した施設	20.0%	18.8%	18.0%	19.2%	25.3%	24.6%	18.5%
周辺の街並みや景観に配慮した施設	10.0%	10.9%	17.3%	8.9%	14.5%	15.2%	18.8%
市のシンボル・ランドマークとなるデザイン	20.0%	17.2%	12.9%	11.3%	13.1%	8.3%	12.2%
まち(地域)の活性化への寄与	10.0%	14.1%	18.0%	14.8%	22.6%	22.4%	23.5%
その他	0.0%	0.0%	5.8%	5.9%	2.7%	3.0%	1.6%
無回答	20.0%	0.0%	2.2%	2.0%	2.7%	3.9%	5.6%
回答数	32	238	521	758	1214	1827	1511

上位3項目

⑤拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

- おおよその傾向として、30代まで、40代以降で、必要な新たな施設（機能）の内容が異なっている。
- 「20代」「30代」では、「子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）」を挙げている人の割合が最も高く、40代以降では、「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」を挙げている人の割合が最も高い。
- 「20歳未満」を除いたいずれの年代でも回答者の割合が高い内容は、「イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース」である（2位、70代以上では3位）。

表 2 年齢別拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

	20歳未満 (N=10)	20代 (N=64)	30代 (N=139)	40代 (N=203)	50代 (N=297)	60代 (N=460)	70代以上 (N=460)
市政情報などを知ることができる情報発信スペース	30.0%	26.6%	25.2%	39.9%	43.1%	45.9%	48.9%
イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース	10.0%	34.4%	33.8%	37.4%	41.1%	36.5%	36.2%
誰でも利用できる談話、相談スペース	20.0%	18.8%	12.9%	25.1%	31.0%	32.0%	38.4%
市民団体や自治会などの活動・交流スペース	20.0%	4.7%	13.7%	16.7%	18.2%	23.5%	21.7%
市民、児童生徒の学習スペースや図書コーナー	20.0%	29.7%	30.9%	23.6%	13.8%	12.0%	10.8%
子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）	30.0%	56.3%	48.9%	25.1%	22.6%	21.5%	16.1%
市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	30.0%	18.8%	30.9%	23.6%	31.3%	33.0%	36.0%
芸術文化活動スペース（音楽・創作活動など）	30.0%	6.3%	11.5%	14.8%	15.2%	11.3%	13.8%
軽運動スペース（ダンスや介護予防運動など）	0.0%	15.6%	11.5%	13.3%	12.5%	11.5%	14.6%
その他	0.0%	1.6%	7.2%	5.4%	3.7%	4.6%	2.6%
無回答	20.0%	9.4%	6.5%	4.4%	5.7%	8.0%	7.7%
回答数	21	142	324	466	707	1103	933

上位 3 項目

⑥拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

- 「市民が憩える公園・広場」はいずれの年代でも上位 3 項目に入っている。
- 20代～30代では、「レクリエーション・スポーツの活動場所」が上位 3 項目に入っている。

表 3 拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

	20歳未満 (N=10)	20代 (N=64)	30代 (N=139)	40代 (N=203)	50代 (N=297)	60代 (N=460)	70代以上 (N=460)
レクリエーション・スポーツの活動場所	0.0%	18.8%	21.6%	16.3%	14.8%	12.2%	14.6%
歴史館や資料館などの文化芸術施設	10.0%	10.9%	6.5%	9.9%	12.5%	15.4%	24.9%
市民講座やボランティア活動、地域活動などができる生涯学習施設	20.0%	6.3%	9.4%	15.3%	16.8%	20.0%	20.6%
子育てや高齢者などのための福祉施設	10.0%	26.6%	15.8%	16.3%	12.8%	16.1%	20.4%
観光案内・交流拠点施設や物産販売施設	30.0%	15.6%	4.3%	10.3%	17.8%	17.6%	13.0%
市民や観光客のための市営駐車場	0.0%	17.2%	19.4%	15.8%	17.5%	20.2%	19.8%
市民が憩える公園・広場	20.0%	21.9%	33.8%	24.6%	23.9%	24.3%	27.0%
企業や個人などへの売却、または、民間への賃貸	30.0%	14.1%	18.0%	20.2%	22.2%	17.8%	8.7%
公共施設の用地として当面は市有のままとする	0.0%	3.1%	4.3%	8.4%	11.8%	11.5%	15.1%
わからない	0.0%	10.9%	6.5%	12.3%	5.7%	5.2%	4.5%
その他	10.0%	3.1%	10.1%	6.9%	5.1%	5.4%	2.6%
無回答	20.0%	6.3%	5.0%	3.4%	4.7%	5.0%	5.3%
回答数	15	99	215	324	492	786	667

上位 3 項目

3) 調査結果（地区によるクロス集計）

①利用頻度

- 「年に数回程度」と答えた人の割合がいずれの地区でも最も高い。
- 「重茂地区」では「月に1、2回程度」と答えた人の割合が38.5%と他の地区に比べ最も高い。
- 「川井地区」では、「ほとんど行かない」と答えた人の割合が20.7%と他の地区に比べ最も高い。

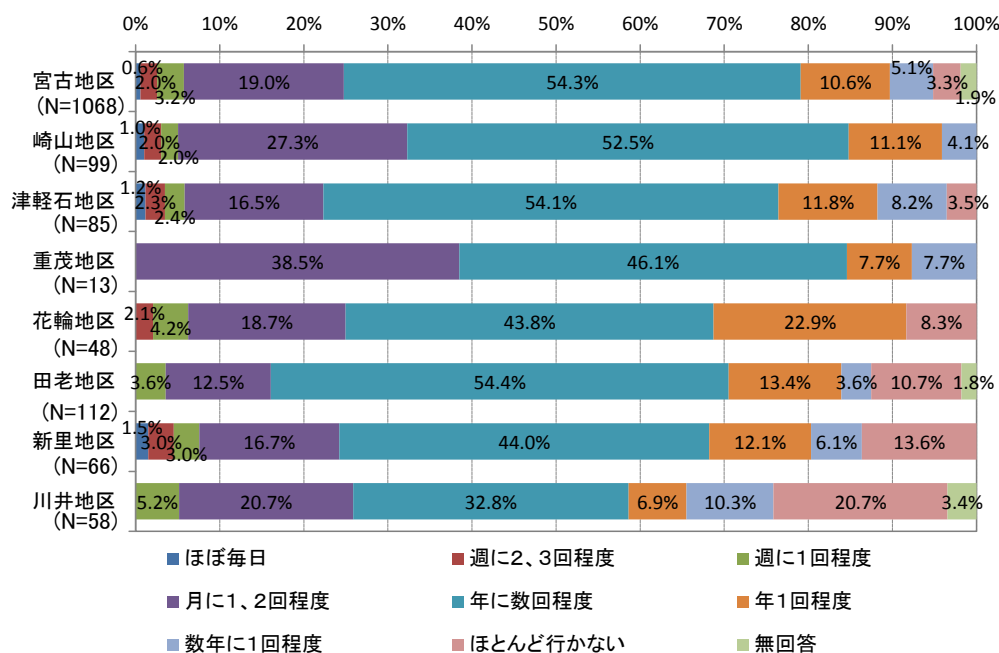


図 19 地区別利用頻度

②整備計画の認知度

- 「重茂地区」と「川井地区」を除いて、「知っていた」と答えた人が、いずれの地区でも8割～9割を占めている。
- 「重茂地区」と「川井地区」では「知らなかった」と答えた人の割合が、それぞれ38.5%、29.3%と、他の地区に比べて高くなっている。

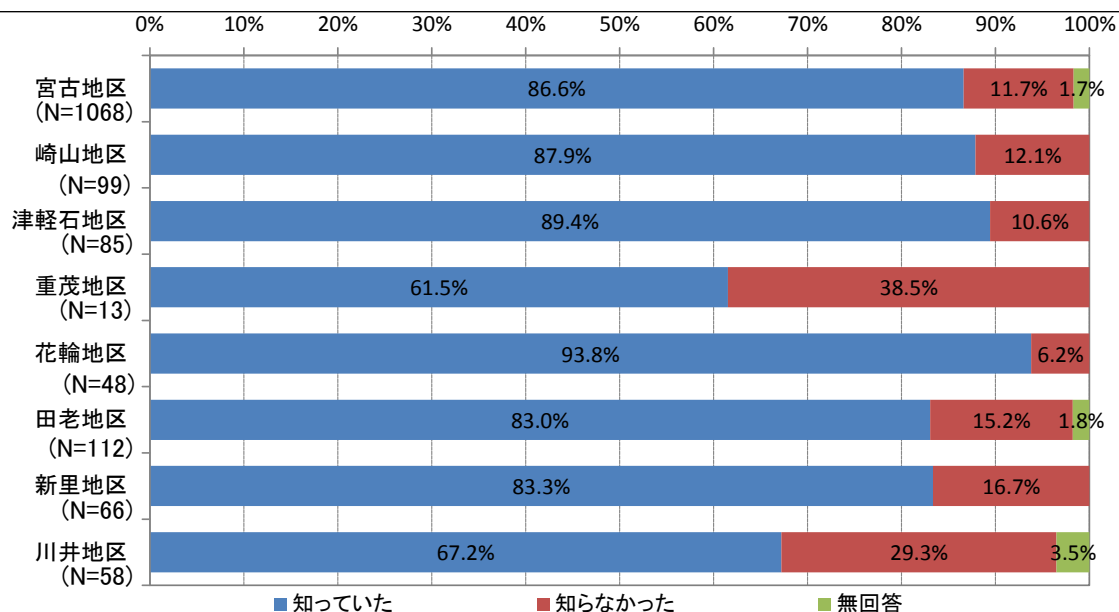


図 20 地区別整備計画の認知度

③拠点施設の整備について

- 「津軽石地区」以外で、早めの対応を求める声が5割近く、または5割を超えている。
- 「津軽石地区」では、「急がなくていい」「どちらかという急がなくていい」「必要性を感じない」と答えた人の割合が、50.6%と他の地区に比べて最も高くなっている。
- 拠点施設の整備について、「津軽石地区」以外で、早めの対応を求める声が5割近く、または5

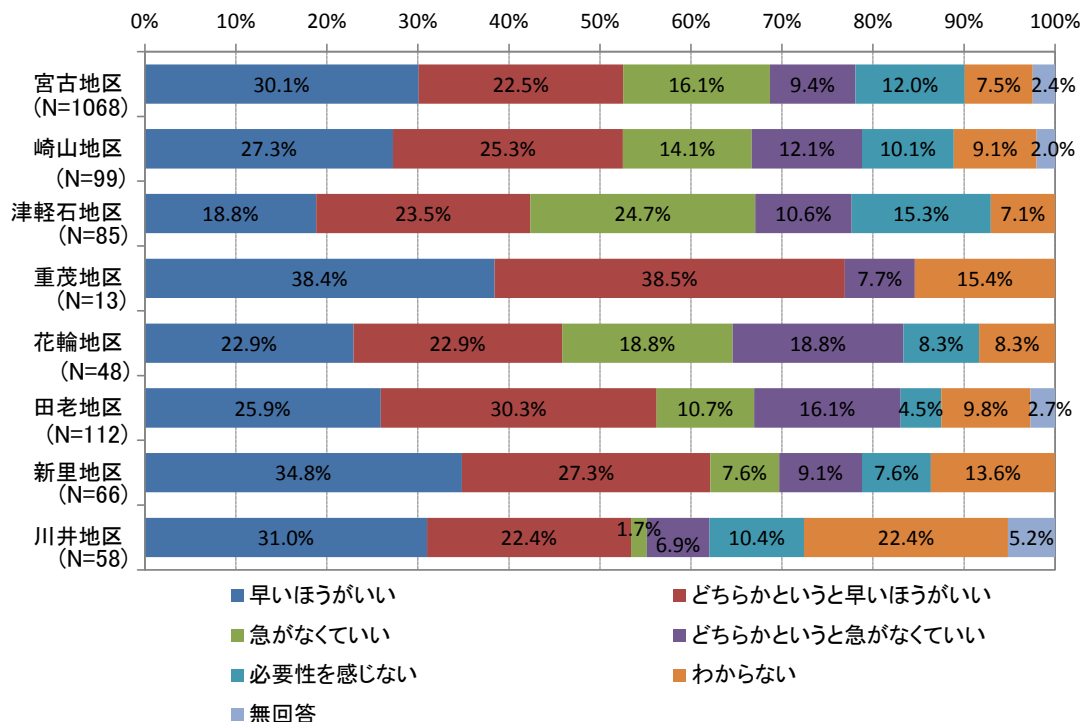


図 21 地区別拠点施設の整備について

④拠点施設の整備で重要視すること

- 「新里地区」、「川井地区」以外の地区では、重要視する項目として「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」を挙げている人の割合が最も高い。次いで挙げている人の割合が高いのは、「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」である。
- 「新里地区」、「川井地区」では、「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」を挙げている人の割合が最も高い。

表 4 地区別拠点施設の整備で重要視すること

	宮古 (N=1068)	崎山 (N=99)	津軽石 (N=85)	重茂 (N=13)	花輪 (N=48)	田老 (N=112)	新里 (N=66)	川井 (N=58)
防災教育・防災学習スペース	13.6%	14.1%	7.1%	0.0%	14.6%	13.4%	24.2%	17.2%
1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能	63.8%	62.6%	60.0%	69.2%	72.9%	67.9%	57.6%	56.9%
行きたい窓口や部署が分かりやすいレイアウト	44.3%	49.5%	37.6%	46.2%	35.4%	54.5%	54.5%	50.0%
交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース	55.7%	61.6%	57.6%	61.5%	72.9%	58.9%	68.2%	67.2%
プライバシーに配慮された相談スペース	16.6%	18.2%	21.2%	23.1%	20.8%	21.4%	10.6%	17.2%
高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能	46.3%	40.4%	47.1%	53.8%	52.1%	54.5%	43.9%	39.7%
市民に開かれた議会及び議会活動の場	10.2%	13.1%	14.1%	7.7%	10.4%	2.7%	10.6%	6.9%
耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設	41.4%	43.4%	37.6%	46.2%	41.7%	58.0%	60.6%	41.4%
省資源・省エネルギー対策に配慮した施設	20.3%	19.2%	23.5%	15.4%	33.3%	25.0%	19.7%	12.1%
建設・維持管理・更新コストに配慮した施設	20.7%	18.2%	23.5%	7.7%	37.5%	22.3%	16.7%	34.5%
周辺の街並みや景観に配慮した施設	15.9%	16.2%	15.3%	23.1%	8.3%	8.9%	25.8%	3.4%
市のシンボル・ランドマークとなるデザイン	11.8%	13.1%	8.2%	15.4%	10.4%	5.4%	13.6%	12.1%
まち(地域)の活性化への寄与	23.2%	19.2%	17.6%	15.4%	18.8%	14.3%	18.2%	5.2%
その他	3.6%	0.0%	1.2%	0.0%	6.3%	3.6%	1.5%	3.4%
無回答	4.4%	4.0%	2.4%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	3.4%
回答数	4184	389	318	50	209	462	281	215

上位3項目

⑤拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

- 「重茂地区」以外の地区では、「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」を必要な新たな施設（機能）として挙げた人の割合が最も高くなっている。
- 「重茂地区」では、「子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）」を必要な新たな施設（機能）として挙げた人の割合が 61.5% と他の地区に比べ最も高くなっている。

表 5 地区別拠点施設を整備する上で必要な新しい施設（機能）

	宮古 (N=1068)	崎山 (N=99)	津軽石 (N=85)	重茂 (N=13)	花輪 (N=48)	田老 (N=112)	新里 (N=66)	川井 (N=58)
市政情報などを知ることができる情報発信スペース	40.8%	39.4%	51.8%	38.5%	45.8%	48.2%	56.1%	39.7%
イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース	38.2%	33.3%	36.5%	15.4%	43.8%	31.3%	34.8%	36.2%
誰でも利用できる談話、相談スペース	29.8%	32.3%	25.9%	30.8%	27.1%	30.4%	33.3%	37.9%
市民団体や自治会などの活動・交流スペース	19.7%	16.2%	16.5%	7.7%	25.0%	17.9%	25.8%	19.0%
市民、児童生徒の学習スペースや図書コーナー	15.5%	22.2%	14.1%	23.1%	20.8%	17.9%	15.2%	6.9%
子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）	23.7%	32.3%	17.6%	61.5%	31.3%	26.8%	34.8%	19.0%
市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	30.9%	30.3%	30.6%	38.5%	35.4%	35.7%	27.3%	36.2%
芸術文化活動スペース（音楽・創作活動など）	14.7%	8.1%	14.1%	0.0%	8.3%	8.0%	9.1%	13.8%
軽運動スペース（ダンスや介護予防運動など）	13.5%	16.2%	11.8%	15.4%	6.3%	9.8%	13.6%	5.2%
その他	4.5%	3.0%	3.5%	0.0%	6.3%	0.9%	7.6%	1.7%
無回答	7.0%	8.1%	5.9%	7.7%	4.2%	8.9%	0.0%	12.1%
回答数	2545	239	194	31	122	264	170	132

上位 3 項目

⑥拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

- 宮古、花輪、田老地区では、「市民が憩える公園・広場」が、崎山、津軽石地区では、「市民や観光客のための市営駐車場」が、重茂、新里地区では、「子育てや高齢者などのための福祉施設」が、川井地区では、「企業や個人などへの売却、または民間への賃貸」が最も多い回答となっている。

表 6 地区別拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

	宮古 (N=1068)	崎山 (N=99)	津軽石 (N=85)	重茂 (N=13)	花輪 (N=48)	田老 (N=112)	新里 (N=66)	川井 (N=58)
レクリエーション・スポーツの活動場所	15.5%	14.1%	9.4%	15.4%	16.7%	16.1%	16.7%	10.3%
歴史館や資料館などの文化芸術施設	15.4%	15.2%	17.6%	23.1%	16.7%	8.9%	19.7%	15.5%
市民講座やボランティア活動、地域活動などができる生涯学習施設	17.4%	15.2%	14.1%	7.7%	20.8%	17.9%	24.2%	13.8%
子育てや高齢者などのための福祉施設	16.7%	14.1%	16.5%	38.5%	25.0%	10.7%	28.8%	17.2%
観光案内・交流拠点施設や物産販売施設	15.0%	13.1%	15.3%	0.0%	10.4%	13.4%	16.7%	8.6%
市民や観光客のための市営駐車場	16.9%	32.3%	27.1%	15.4%	10.4%	21.4%	16.7%	22.4%
市民が憩える公園・広場	25.7%	28.3%	21.2%	30.8%	27.1%	31.3%	24.2%	15.5%
企業や個人などへの売却、または、民間への賃貸	17.5%	15.2%	10.6%	23.1%	20.8%	12.5%	10.6%	25.9%
公共施設の用地として当面は市有のままとする	11.4%	12.1%	10.6%	7.7%	16.7%	6.3%	6.1%	13.8%
わからない	5.3%	6.1%	12.9%	0.0%	8.3%	11.6%	4.5%	5.2%
その他	5.9%	3.0%	2.4%	7.7%	0.0%	5.4%	6.1%	3.4%
無回答	5.5%	3.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	3.4%
回答数	1799	170	139	22	83	180	115	90

上位 3 項目

4) 調査結果（拠点整備に対する意向によるクロス集計）

①拠点施設の整備で重要視すること

- 「早いほうがいい」「どちらかというと早いほうがいい」という早めの対応を求める人では、「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」「耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設」が上位3つの回答となっている。
- 「急がなくていい」「どちらかというと急がなくていい」という人でも、「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」の回答が最も多く、次いで「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」となっている。
- 「必要性を感じない」「わからない」という人でも最上位、次いで多い回答は同じで、その他「行きたい窓口の部署が分かりやすいレイアウト」「高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能」が挙がっている。

表 7 整備意向別拠点施設の整備で重要視すること

	早いほうがいい (N=457)	どちらかというと 早いほうがいい (N=369)	急がなくていい (N=234)	どちらかというと 急がなくていい (N=161)	必要性を感じない (N=174)	わからない (N=136)
防災教育・防災学習スペース	17.7%	15.4%	12.0%	5.6%	9.8%	14.0%
1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能	65.9%	68.3%	62.8%	72.7%	53.4%	51.5%
行きたい窓口や部署が分かりやすいレイアウト	50.1%	54.5%	32.1%	49.7%	35.6%	39.7%
交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース	66.3%	61.2%	57.7%	61.5%	42.0%	48.5%
プライバシーに配慮された相談スペース	18.6%	19.0%	13.7%	28.0%	11.5%	8.8%
高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能	50.1%	52.8%	47.9%	44.1%	28.7%	46.3%
市民に開かれた議会及び議会活動の場	8.5%	8.4%	14.1%	10.6%	12.1%	8.8%
耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設	52.1%	54.7%	36.3%	35.4%	20.7%	35.3%
省資源・省エネルギー対策に配慮した施設	17.3%	21.7%	24.8%	26.1%	17.8%	20.6%
建設・維持管理・更新コストに配慮した施設	14.2%	21.4%	25.2%	33.5%	25.9%	24.3%
周辺の街並みや景観に配慮した施設	19.3%	12.7%	15.8%	12.4%	16.1%	9.6%
市のシンボル・ランドマークとなるデザイン	17.7%	11.7%	10.3%	4.3%	4.6%	8.1%
まち(地域)の活性化への寄与	23.0%	20.9%	21.4%	21.1%	18.4%	18.4%
その他	2.4%	1.6%	2.1%	2.5%	10.3%	2.9%
無回答	0.7%	0.5%	2.6%	0.6%	14.4%	2.9%
回答数	1937	1568	886	657	559	462

上位 3 項目

②拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

- 拠点施設整備に対する意向がいずれの回答者も「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」が最も多い回答となっている。
- 「どちらかというと急がなくていい」という人を除いて、「イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース」が 2 番目に多い回答となっている。

表 8 整備意向別拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

	早いほうがいい (N=457)	どちらかというと 早いほうがいい (N=369)	急がなくていい (N=234)	どちらかというと 急がなくていい (N=161)	必要性を感じない (N=174)	わからない (N=136)
市政情報などを知ることができる情報発信スペース	44.2%	48.8%	44.4%	41.0%	31.0%	36.8%
イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース	43.5%	40.1%	35.0%	30.4%	28.2%	34.6%
誰でも利用できる談話、相談スペース	32.8%	29.3%	30.8%	32.3%	21.3%	34.6%
市民団体や自治会などの活動・交流スペース	22.5%	21.4%	20.1%	23.0%	10.3%	11.0%
市民、児童生徒の学習スペースや図書コーナー	19.0%	15.4%	18.4%	16.1%	10.9%	11.8%
子育て支援スペース(子ども待合室・授乳室など)	24.3%	28.5%	24.8%	30.4%	19.5%	21.3%
市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース	31.7%	36.6%	31.2%	34.2%	24.7%	25.0%
芸術文化活動スペース(音楽・創作活動など)	12.9%	13.0%	12.4%	16.8%	10.3%	14.0%
軽運動スペース(ダンスや介護予防運動など)	15.5%	14.6%	9.8%	11.8%	8.0%	12.5%
その他	3.1%	2.7%	2.6%	3.7%	12.1%	5.1%
無回答	3.7%	2.7%	6.4%	3.7%	19.0%	10.3%
回答数	1158	934	552	392	340	295

上位 3 項目

③拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

○「必要性を感じない」という人を除いて、「市民が憩える公園・広場」が最も多い回答となっている。

表 9 整備意向別拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

	早いほうがいい (N=457)	どちらかというと 早いほうがいい (N=369)	急がなくていい (N=234)	どちらかというと 急がなくていい (N=161)	必要性を感じない (N=174)	わからない (N=136)
レクリエーション・スポーツの活動場所	16.4%	17.9%	11.1%	14.9%	9.2%	14.7%
歴史館や資料館などの文化芸術施設	20.4%	13.6%	15.4%	16.1%	10.9%	9.6%
市民講座やボランティア活動、地域活動などができる生涯学習施設	20.8%	20.9%	11.1%	21.1%	9.2%	14.0%
子育てや高齢者などのための福祉施設	19.3%	16.5%	16.7%	19.9%	9.8%	19.9%
観光案内・交流拠点施設や物産販売施設	16.4%	16.0%	14.1%	12.4%	8.6%	14.7%
市民や観光客のための市営駐車場	20.1%	20.1%	16.2%	24.8%	13.2%	17.6%
市民が憩える公園・広場	26.7%	29.8%	28.2%	24.8%	16.1%	19.9%
企業や個人などへの売却、または、民間への賃貸	17.9%	13.6%	19.2%	17.4%	19.0%	15.4%
公共施設の用地として当面は市有のままとする	8.1%	11.7%	18.4%	10.6%	12.1%	5.9%
わからない	2.4%	7.9%	5.6%	5.6%	8.0%	16.2%
その他	4.4%	2.4%	4.7%	5.6%	14.9%	4.4%
無回答	2.2%	2.2%	3.4%	0.6%	17.2%	4.4%
回答数	800	636	384	280	258	213

上位 3 項目

5) 調査結果（その他、自由記入の集計）

①拠点施設の整備について、早いほうがいいとする理由の「その他」意見（回答数 44人）

○「今の場所では、安全面に不安があるから（津波など）」という理由が17人と最も多く、次いで、「駅に近くなるから（交通の便が良くなる）」が11人、「駅の周りや公的な施設が整備されることで復興が進むと思うから」が7人、「老朽化しているから」、「駐車場が狭いから」がそれぞれ2人、等となっている。

②拠点施設の整備について、急がなくていいとする理由の「その他」意見（回答数 17人）

○「もっと時間をかけて議論をしてほしい」という理由が7人と最も多く、次いで、「街全体の構想が不明」が2人、「移動する場所が良くないと思うから」、「市の財政に合わせた建物にしてほしい」、「しばらくは、今のままでよい」がそれぞれ1名、等となっている。

③拠点施設の整備について、必要性を感じないとする理由の「その他」意見（回答数 8人）

○「移動する場所が良くないと思うから」という理由が5人と最も多く、「他のことにお金をかけた方がよい」が1名、等となっている。

④拠点施設の整備について、わからないとする理由の「その他」意見（回答数 6人）

○「宮古駅南側に建設しても変わらないと思うから」「税金のムダだと思うから」、「完成まで時間がかかるから」「もっと広い所で安全な所に作って欲しい」「パチンコ店が近くにあるから」という意見があった。

⑤拠点施設の整備で重要視することについての「その他」意見（回答数 41人）

○「必要性を感じない、他に必要なものがある」という意見が13人と最も多く、次いで、「駅と一体化してほしい」が5人、「渋滞対策をしてほしい」、「要件の際の待ち時間の短縮化」がそれぞれ2人、「交通手段の利便性を上げてほしい」が1人、等となっている。

⑥拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）についての「その他」意見（回答数 47人）

○「必要性を感じない、他に必要なものがある」という意見が23人と最も多く、次いで、「民間へ貸し出せるテナント・スペース」が3人、「必要最低限の施設だけにしてほしい」が2人、「渋滞対策をしてほしい」が1人、等となっている。

⑦拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用についての「その他」意見

（回答数 64人）

○「必要性を感じない、解体しないでそのまま利用する」という意見が19人と最も多く、次いで、「避難用のビルや防災シェルター」が10人、「道の駅にしてほしい」が6人、「跡地は企業誘致にしてほしい」が5人、「リハビリ施設やトレーニング施設」が2人、等となっている。

⑧拠点施設の整備についての意見や提案 （回答数 527人）

○「現状のままでよい、他に優先するものがある」という意見が 72 人と最も多く、次いで、「市民へ広報や説明する機会を増やし、十分に議論をして決めてほしい」が 35 人、「駐車スペースを充実させてほしい」が 34 人、「渋滞対策などを考えて道路の整備もしてほしい」が 33 人、「防災に力を入れてほしい」が 30 人と続いている。

記載内容	回答数
現状のままでよい、他に優先するものがある	72
市民へ広報や説明する機会を増やし、十分に議論をして決めてほしい	35
駐車スペースを充実させてほしい	34
渋滞対策などを考えて道路の整備もしてほしい	33
防災に力を入れてほしい	30
市役所等の移転について賛成。早期完成を期待している	26
地域活性化、人口流出を防ぐ対策が必要	26
施設のデザインや機能面を工夫したものにしてほしい	22
公共交通を充実させてほしい	19
財政面に配慮して整備に多額の費用はかけないでほしい	18
公園や運動施設を作ってほしい	18
パチンコ店の近くは景観上良くない。店を移動してほしい	17
拠点施設の集約などを行い、利用しやすくしてほしい	17
子育てや高齢者や障がい者に配慮した施設にしてほしい	17
移転先を宮古駅南側以外の場所にしてほしい	14
市役所と駅の間に通路を作るなど、駅と繋げてほしい	13
拠点施設を集約しなくてよい。遠方の施設も充実させてほしい	8
アンケートの質問自体に疑問がある	7
歴史館や資料館などの文化芸術施設を作ってほしい	4
その他	97

3. 資料編

1) 市民アンケート調査票

中心市街地 拠点施設の整備に関する市民アンケート
～皆様のご意見をお寄せください！～

宮古市では、現在市が抱える様々な課題を解決するため、宮古駅南側で次の①～④の施設を集約した「拠点施設」の整備を検討しています。

- 拠点施設
- ①防災拠点施設（市民を守るための防災・対策本部の整備、防災教育・学習の場）
 - ②地域活力創出拠点施設（市民に親しまれ、様々な市民活動を応援する交流・活動の場）
 - ③行政機能（市庁舎）集約・効率化（「老朽」「耐震」「狭あい」「分散」の諸課題を抱える市庁舎の再配置や行政サービスの改善）
 - ④宮古保健センターの本復旧（現在、市民総合体育館敷地内に仮復旧した施設で事業実施）

現在の市庁舎の利用状況や、拠点施設の整備についてのご意見を伺います。

今後検討を進めるため、大切な資料となりますので、ご協力いただくようお願いします。

郵便はがきで回答：8月31日（日）までに投函、
ファックスまたは持参で回答：9月1日（月）までにお願いします。

郵便はがきで回答する場合
こちらを切り取ってください

料金受取人払郵便

宮古郵便局 承認 153

宮古市新川町2番1号

宮古市総務企画部企画課
市街地施設推進室 行

差出有効期間
平成26年
8月31日まで
(切手不要)

質問1 あなたご自身のことについてお伺いします。該当する番号に○をつけてください

性別	年齢			
① 男性	①20歳未満	②20代	③30代	④40代
② 女性	⑤50代	⑥60代	⑦70代以上	
お住まい				
①宮古地区	②崎山地区	③津軽石地区	④重茂地区	
⑤花輪地区	⑥田老地区	⑦新里地区	⑧川井地区	
職業				
①農林漁業	②自営業	③会社員	④公務員・団体職員	
⑤パート・アルバイト	⑥家事専業	⑦学生	⑧無職	

質問2以降について、下記の欄に該当する番号等を記入して下さい。

質問2	複数回答可(①～⑭)			
	⑮その他			
質問3	質問4	質問5	質問6	

ウラ面にお進みください→

～ 回答の方法 ～

- 本アンケートは全世帯を対象に、「1世帯に1枚」配布します。記入は、ご家族どなたでも結構です。
- ①「広報みやこ」8月15日号（2～5ページ）の本アンケート関連記事をご参照ください。
- ②次のとおり回答してください。

【郵便はがきの場合】

- ①郵便はがきのキリトリ線をお切りください。
- ②質問を読み、回答を郵便はがき（表面・裏面）に記入して下さい。
- ③切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

【ファックスの場合】

- ①裏面中央のキリトリ線をお切りください。
- ②質問を読み、回答をファックス用記入欄（黒塗り部分）に記入して下さい。
- ③ファックス用記入欄を送信してください。

【持参の場合】

本庁舎（企画課）や各総合事務所（住民生活課）、各出張所をお願いします。

- 記入された事項は統計的に処理され、情報が公開され個人が特定されることは決してありません。
- 調査の集計結果は、市の広報やホームページ等でお知らせします。

<http://www.city.miyako.iwate.jp/>

質問2	あなたが日頃、市役所（本庁舎・分庁舎、総合事務所、出張所）を利用するときの用件は何ですか。（複数回答可）		
①戸籍、住民票、印鑑登録	⑥教育（学校、教育相談など）	⑪自治会や地域活動	
②健康保険、年金	⑦市営住宅（災害公営住宅）	⑫商工・観光・農林水産業	
③税金	⑧建築確認、道路、都市計画	⑬議会や会議の傍聴	
④介護、高齢、障がいサービス	⑨環境対策、廃棄物	⑭展示物の観覧、配布物の受取	
⑤子どもの保育や保健	⑩住民相談（法律相談など）	⑮その他（具体的に記入してください）	

質問3	あなたは、どのくらい本庁舎を利用しますか。			
①ほぼ毎日	②週に2、3回程度	③週に1回程度	④月に1、2回程度	
⑤年に数回程度	⑥年1回程度	⑦数年に1回程度	⑧ほとんど行かない	→質問6へ進んでください。

質問4	あなたは、どのような交通手段で本庁舎を訪れますか。（主な手段を一つ選択）			
①自動車（自分で運転）	②自動車（家族等の送迎）	③タクシー	④路線バス	
⑤鉄道（JR・三陸鉄道）	⑥オートバイ	⑦自転車	⑧徒歩	

質問5	本庁舎を訪れたときの滞在時間はおおむねどのくらいですか。（滞在時間が訪問先によって異なる場合は、平均的な時間をお答えください。）			
①15分未満	②15～30分未満	③30分～1時間未満	④1時間以上	

質問6	今後、宮古駅南側の用地を取得し拠点施設の整備計画を進めることとしています。あなたは、このような計画があることをご存じでしたか。	
①知っていた	②知らなかった（このアンケートで初めて知った）	

質問7	拠点施設の整備について、どのように思いますか。 ※現在、平成29年度の完成を計画しております。		
①早いほうがいい	③急がなくていい	⑥わからない	
②どちらかという早いほうがいい	④どちらかという急がなくていい		
	⑤必要性を感じない		

質問8	質問7で、①または②を選択した方、その理由をお伺いします。	質問9	質問7で、③、④または⑤を選択した方、その理由をお伺いします。	質問10	質問7で、⑥を選択した方、その理由をお伺いします。
①建物の老朽化が著しく、危険性を感じるから		①現在の建物の耐震補強改修工事に対応できると思うから		①整備規模や費用がわからないから	
②窓口が分散化し、不便だから		②他の優先すべき課題があるから		②まだ、議論が不十分だから	
③窓口や待合ロビーが狭いから		③住民サービスの向上や地域活性化につながると思えないから		③このことにあまり関心がないから	
④高齢者や体の不自由な方にとって利用しにくいから		④多額の費用がかかり将来世代への負担が心配だから		④その他（具体的に記入してください）	
⑤その他（具体的に記入してください）		⑤その他（具体的に記入してください）			

質問11

拠点施設を整備するとした場合、あなたが求めるもの、重要視することは何ですか。（5つまで選択可）

①防災教育・防災学習スペース

②1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能

③行きたい窓口や部署が分かりやすいレイアウト

④交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース

⑤プライバシーに配慮された相談スペース

⑥高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能

⑦市民に開かれた議会及び議会活動の場

⑧耐震性が確保された防災上安全・安心できる施設

⑨省資源・省エネルギー対策に配慮した施設

⑩建設・維持管理・更新コストに配慮した施設

⑪周辺の街並みや景観に配慮した施設

⑫市のシンボル・ランドマーク(※)となるデザイン

⑬まち（地域）の活性化への寄与

⑭その他（具体的に記入してください）

※ランドマーク：その土地の目印や象徴になるような建造物。

質問12

拠点施設を整備するとした場合、様々な市民活動を応援する新たな施設（機能）として、何が必要だと思いますか。（3つまで選択可）

①市政情報などを知ることができる情報発信スペース

②イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース

③誰でも利用できる談話、相談スペース

④市民団体や自治会などの活動・交流スペース

⑤市民、児童生徒の学習スペースや図書コーナー

⑥子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）

⑦市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース

⑧芸術文化活動スペース（音楽・創作活動など）

⑨軽運動スペース（ダンスや介護予防運動など）

⑩その他（具体的に記入してください）

質問13

拠点施設を宮古駅南側の用地に新たに整備する場合、あなたは、どのような交通手段で訪れますか。（主な手段を一つ選択）

①自動車（自分で運転）

②自動車（家族等の送迎）

③タクシー

④路線バス

⑤鉄道（JR・三陸鉄道）

⑥オートバイ

⑦自転車

⑧徒歩

質問14

拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合、その用地をどのように活用したら良いと思いますか。（2つまで選択可）

①レクリエーション・スポーツの活動場所

②歴史館や資料館などの文化芸術施設

③市民講座やボランティア活動、地域活動などができる生涯学習施設

④子育てや高齢者などのための福祉施設

⑤観光案内・交流拠点施設や物産販売施設

⑥市民や観光客のための市営駐車場

⑦市民が憩える公園・広場

⑧企業や個人などへの売却、または、民間への賃貸

⑨公共施設の用地として当面は市有のままとする

⑩わからない

⑪その他（具体的に記入してください）

質問15

拠点施設の整備について、ご意見やご提案をお聞かせください。（回答欄にご記入ください）

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

郵便はがきで回答される場合は、8月31日（日）までにご投函ください。

ファックス又は持参される場合は、9月1日（月）までをお願いします。



▶

ファックスをご利用の際には、こちらの面のみを、
平成26年9月1日（月）までに、ご送信ください
ファックス番号：（0193）63-9114

◀

～ 回答の方法 ～

- 本アンケートは全世帯を対象に、「1世帯に1枚」配布します。記入は、ご家族どなたでも結構です。
- ①「広報みやこ」8月15日号（2～5ページ）の本アンケート関連記事をご参照ください。
- ②次のとおり回答してください。

【郵便はがきの場合】

- ①郵便はがきのキリトリ線をお切りください。
- ②質問を読み、回答を郵便はがき（表面・裏面）に記入して下さい。
- ③切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

【ファックスの場合】

- ①この面の中央のキリトリ線をお切りください。
- ②質問を読み、回答をファックス用記入欄（黒塗り部分）に記入して下さい。
- ③ファックス用記入欄を送信してください。

- 持参の場合は、本庁舎（企画課）や各総合事務所（住民生活課）、各出張所をお願いします。
- 記入された事項は統計的に処理され、情報が公開され個人が特定されることは決してありません。
- 調査の集計結果は、市の広報やホームページ等でお知らせします。
<http://www.city.miyako.iwate.jp/>

お問い合わせ連絡先

宮古市役所 総務企画部企画課 市街地施設推進室（本庁舎4階）
電話：（0193）68-9089 E-mail：kikaku@city.miyako.iwate.jp

ファックス用記入欄

質問1 あなたご自身のことについてお伺いします。該当する番号に○をつけてください

性別

① 男性

② 女性

年齢

①20歳未満

②20代

③30代

④40代

⑤50代

⑥60代

⑦70代以上

お住まい

①宮古地区

②崎山地区

③津軽石地区

④重茂地区

⑤花輪地区

⑥田老地区

⑦新里地区

⑧川井地区

職業

①農林漁業

②自営業

③会社員

④公務員・団体職員

⑤パート・アルバイト

⑥家事専業

⑦学生

⑧無職

質問2～6について、下記の欄に該当する番号等を記入して下さい。

質問2

複数回答可
①～⑭

⑮その他

質問3

質問4

質問5

質問6

はがき返信時のキリトリ線

質問7

⇒ ①②を回答された方 問8へ

⇒ ③④⑤を回答された方 問9へ

⇒ ⑥を回答された方 問10へ

質問8

⑤その他

質問9

⑤その他

質問10

④その他

質問11

5つまで選択可
①～⑬

⑭その他

質問12

3つまで選択可①～⑨

⑩その他

質問13

質問14

2つまで選択可①～⑩

⑪その他

質問15

（自由記入）

キリトリ線

2) アンケート調査報告書（概要版）

1. 調査概要

(1) 調査目的

調査は、平成26年度に予定している宮古市中心市街地拠点施設整備事業の基本計画の策定にあたっての基礎資料とするため、市役所の利用実態や利用に関する市民の満足度及びニーズを把握することを目的として実施するものである。

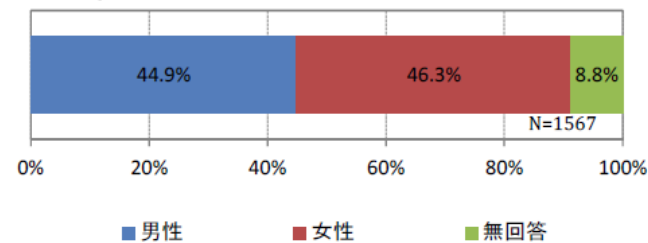
(2) 調査概要

実施期間	平成26年8月15日（金）～8月31日（日） （FAX・窓口提出は、平成26年9月1日（月）着分まで）
調査方法	調査票は、「広報みやこ（平成26年8月15日号）」で全世帯配布。 回収は、郵送・FAX・窓口提出のいずれか。
調査対象	①全世帯（8月1日現在：24,261世帯）②来庁者（本庁舎、総合事務所・出張所の住民窓口）
回収数（率）	①1,056人（世帯、4.35%） ②511人 合計 1,567人

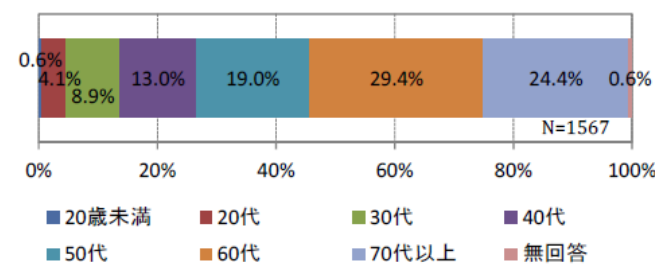
2. 調査結果

(1) 回答者の属性

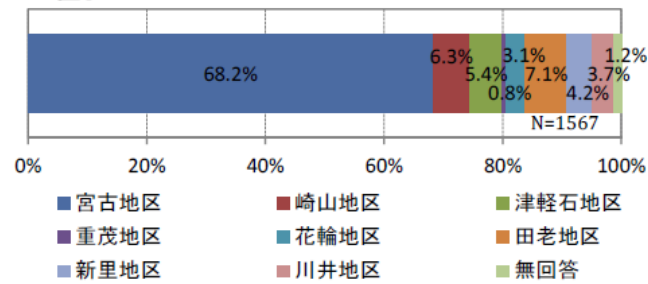
■性別



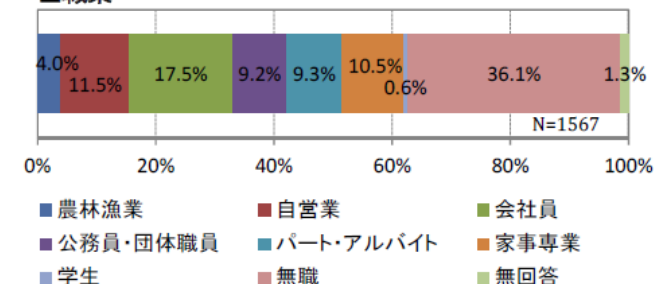
■年齢



■住まい



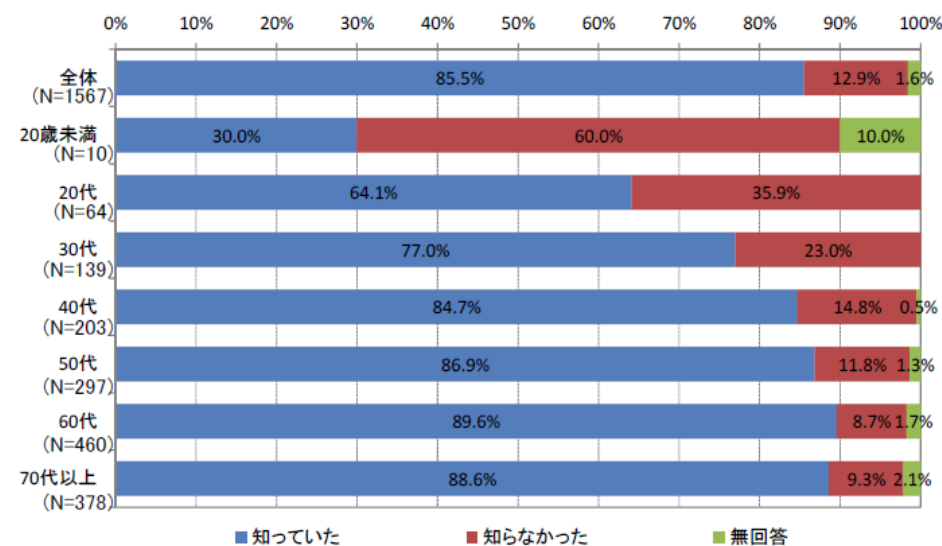
■職業



(2) 整備計画の認知度

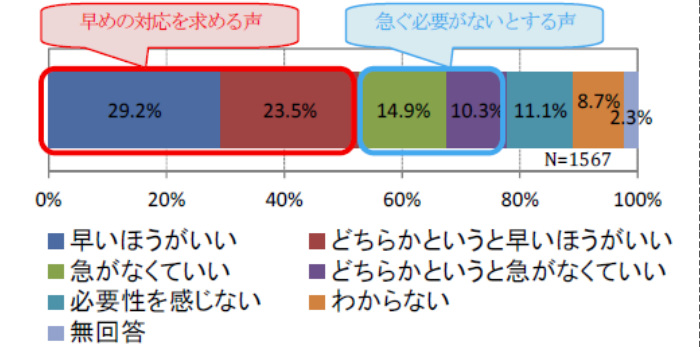
○拠点施設の整備計画について「知っていた」と答えた人が85.5%となっており、整備計画に関する認知度は高い。

○おおよその傾向として、年代が高くなるにつれて、認知度は高くなっている。



(3) 拠点施設の整備について

○拠点施設の整備について「早いほうがいい」と答えた人の割合が29.2%、「どちらかという早いほうがいい」と答えた人の割合が23.5%と、早めの対応を求める声が5割(52.7%)を超えている。また、「急がなくていい」「どちらかという急がなくていい」と答えた人は25.2%、「必要性を感じない」と答えた人は、11.1%となっている。

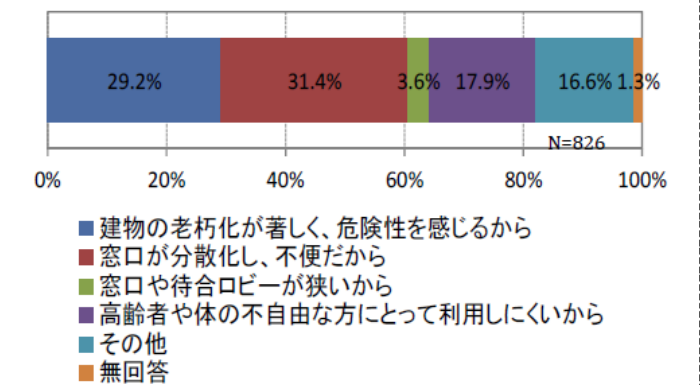


(4) 早めの対応を求める理由について

○早めの対応を求める826人(52.7%)のうち、理由として「窓口が分散化し、不便だから」と答えた人の割合が31.4%と最も高く、次いで、「建物の老朽化が著しく、危険性を感じるから」と答えた人が29.2%となっている。

○「その他」としては、「駅から近く交通の便が良い方がよい」「現庁舎は海に近く危険を感じるので早く安全な場所に整備してほしい」という意見が見られた。

■早めの対応を求める理由

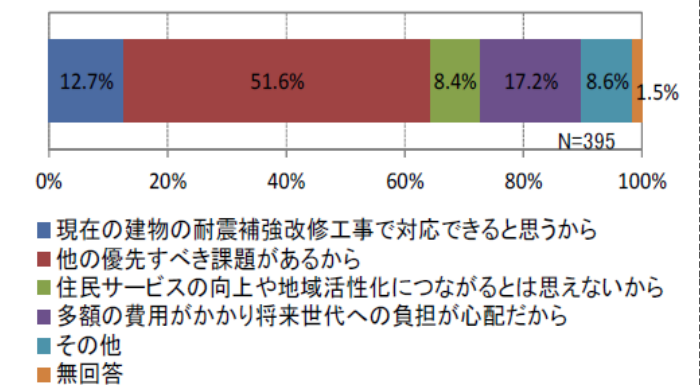


(5) 急ぐ必要がないとする理由について

○拠点施設の整備について急がなくていいと答えた395人(25.2%)のうち、理由として「他の優先すべき課題があるから」と答えた人の割合が51.6%と最も高く、次いで、「多額の費用がかかり将来世代への負担が心配だから」と答えた人が17.2%となっている。

○「その他」としては、「もっと時間をかけて議論してほしい」という意見が見られた。

■急ぐ必要がないとする理由

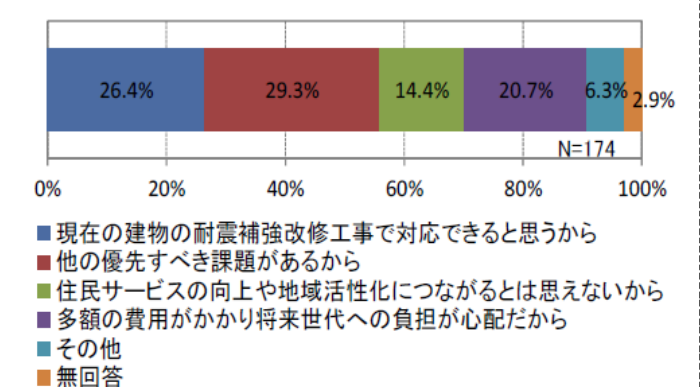


(6) 必要性を感じないとする理由について

○拠点施設の整備について必要性を感じないと答えた174人(11.1%)のうち、理由として「他の優先すべき課題があるから」と答えた人の割合が29.3%と最も高く、次いで、「現在の建物の耐震補強改修工事で対応できると思うから」と答えた人が26.4%となっている。

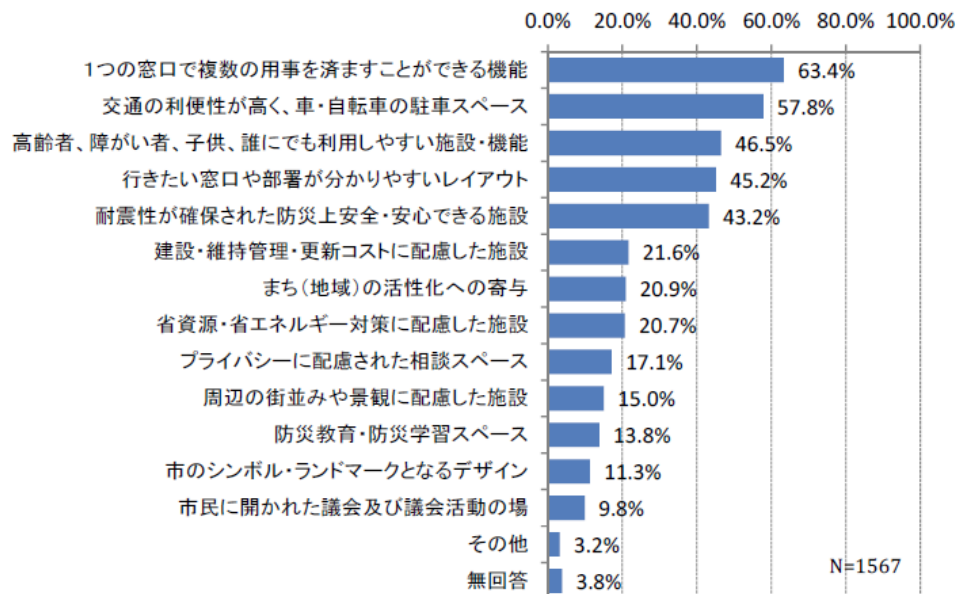
○「その他」としては、「移動する場所が良くないと思うから」という意見が見られた。

■必要性を感じないとする理由



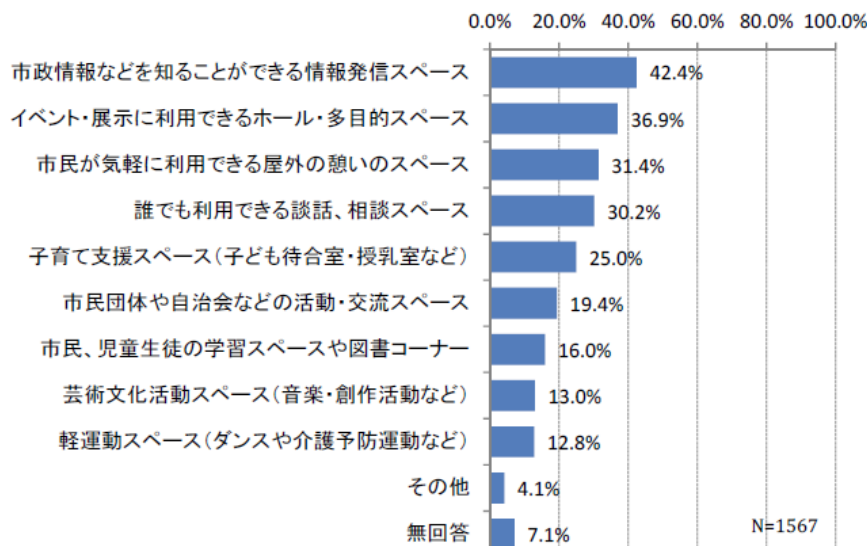
(7) 拠点施設の整備で重要視すること

- 拠点施設の整備では、「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」を重要視すると答えた人の割合が63.4%と最も高く、次いで、「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」と答えた人が57.8%、「高齢者、障がい者、子供、誰にでも利用しやすい施設・機能」と答えた人の割合が46.5%と続いている。
- 「その他」としては、「駅との一体化・コンパクトシティの確立」「窓口サービスの向上」「避難場所の確保」他、「必要がない、現状で十分」「仮設の早期解消が先」等の意見が見られた。
- 年齢別にみると、「20歳未満」・「20代」を除いたいずれの年代においても、重要視する項目として「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」を挙げている人の割合が最も高い。
- 地区別にみると、「新里地区」、「川井地区」で、「交通の利便性が高く、車・自転車の駐車スペース」を挙げている人の割合が最も高い他は、すべての地区で、「1つの窓口で複数の用事を済ませることができる機能」を重要視すると答えた人が最も高い。



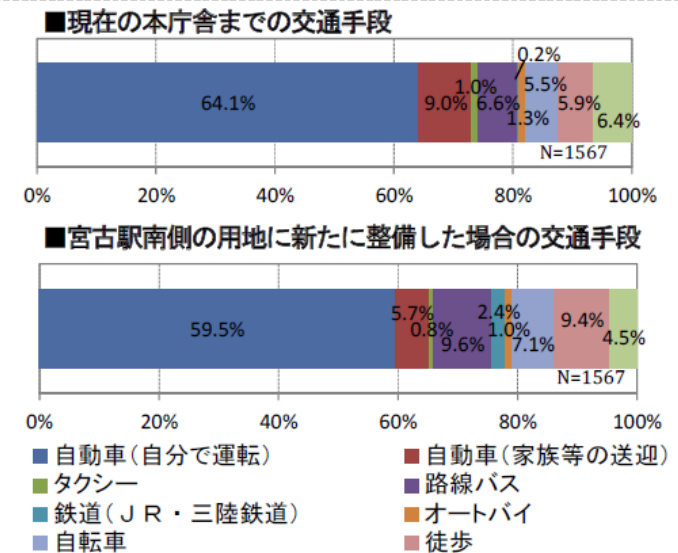
(8) 拠点施設を整備する上で必要な新たな施設（機能）

- 拠点施設の整備では、「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」を必要な新たな施設（機能）と答えた人の割合が42.4%と最も高く、次いで、「イベント・展示に利用できるホール・多目的スペース」と答えた人が36.9%、「市民が気軽に利用できる屋外の憩いのスペース」と答えた人が31.4%となっている。
- 「その他」としては、「必要最小限にすべき」という意見が見られた。
- 年齢別にみると、「20代」「30代」では、「子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）」を挙げている人の割合が最も高く、40代以降では、「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」を挙げている人の割合が最も高い。
- 地区別にみると、「重茂地区」で、「子育て支援スペース（子ども待合室・授乳室など）」を挙げている人の割合が最も高い他は、すべての地区で、「市政情報などを知ることができる情報発信スペース」を必要な新しい施設（機能）として挙げた人の割合が最も高い。



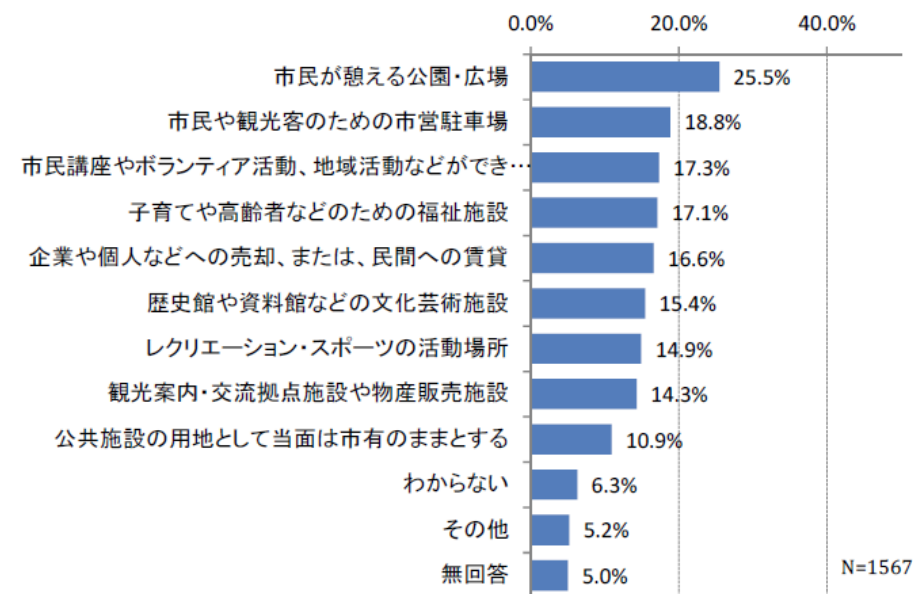
(9) 交通手段

- 現在の本庁舎までの交通手段は、「自動車（自分で運転）」の割合が64.1%と最も高く、「自動車（家族等の送迎）」(9.0%)を含めると7割以上(73.1%)が自動車を使用している。
- 宮古駅南側の用地に整備した場合も、「自動車（自分で運転）」の割合が59.5%と最も高く、「自動車（家族等の送迎）」(5.7%)を含めると6割以上(65.2%)が自動車を使用すると答えている。
- 「公共交通（鉄道・バス・タクシー）」の割合は、現在の交通手段としている人が7.8%、新たに宮古駅南側に施設を整備した場合は、12.8%となっている。



(10) 拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について

- 拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について、「市民が憩える公園・広場」と答えた人の割合が25.5%と最も高く、次いで、「市民や観光客のための市営駐車場」と答えた人が18.8%となっている。ただし、その他いずれの回答にも大差はない。
- 「その他」としては、「津波避難ビルとして残すべき」「道の駅とする」「売却」等の意見が見られた。
- 年齢別にみると、「市民が憩える公園・広場」はいずれの年代でも上位3項目に入っている。



(11) 拠点施設の整備についての意見・提案

- 「現状のままでよい、他に優先するものがある」という意見が72人と最も多く、次いで、「市民へ広報や説明する機会を増やし、十分に議論をして決めてほしい」が35人、「駐車スペースを充実させてほしい」が34人、「渋滞対策などを考えて道路の整備もしてほしい」が33人、「防災に力を入れてほしい」が30人と続いている。

	回答数
現状のままでよい、他に優先するものがある	72
市民へ広報や説明する機会を増やし、十分に議論して決めてほしい	35
駐車スペースを充実させてほしい	34
渋滞対策などを考えて道路の整備もしてほしい	33
防災に力を入れてほしい	30
市役所等の移転について賛成。早期完成を期待している	26
地域活性化、人口流出を防ぐ対策が必要	26
施設のデザインや機能面を工夫したものにしてほしい	22
公共交通を充実させてほしい	19
財政面に配慮して整備に多額の費用はかけないでほしい	18
公園や運動施設を作してほしい	18
パチンコ店の近くは景観上良くない。店を移動してほしい	17
拠点施設の集約などを行い、利用しやすくしてほしい	17
子育てや高齢者や障がい者に配慮した施設にしてほしい	17
移転先を宮古駅南側以外の場所にしてほしい	14
市役所と駅の間に通路を作るなど、駅と繋げてほしい	13
拠点施設を集約しなくてよい。遠方の施設も充実させてほしい	8
アンケートの質問自体に疑問がある	7
歴史館や資料館などの文化芸術施設を作してほしい	4
その他	97

N=527

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に係る市民アンケート調査報告書

発 行 平成 26 年 10 月

編 集 宮古市総務企画部企画課

〒027-8501

岩手県宮古市新川町 2 番 1 号

TEL 0193-62-2111

FAX 0193-63-9114

ホームページアドレス

<http://www.city.miyako.iwate.jp/>

協 力 株式会社ケー・シー・エス 三陸事務所
